

学生と一緒に受講しませんか？

山口県立大学 公開授業 「医学」



医学・医療の進歩は著しく、それに従事する人はもとより受ける人も医療の水準を知ることが大切です。また「命」は医師のものではなく患者のものであります。この授業は、患者自身が医療を選択し決定する、いわゆる「自己決定権の確立」に役立つものとなっています。そこで、人間をトータルとして捉え、多方面から医学・医療を解説するように、本プログラムは組み立てられています。

☆と き 平成21年10月5日(月)～平成22年2月1日(月) 17:50～19:20

(第2回、第12回は月曜日ではないのでご注意ください。)

☆ところ 山口県立大学 本館 A32 階段教室(裏面地図参照)

☆受講料 1回500円、10回以上5000円



プログラム

回	とき	テーマ	講座内容	講師
1	10月5日 (月) 17:50～19:20	生活習慣病 (1) がん	ガン治療の改善は、早期診断・早期治療にあり、特に抗癌剤の進歩に負うところが多い。手術、薬物療法、放射線療法、免疫療法などを組み合わせた集学療法について学ぶ。	山口県立総合医療センター 外科部長 野島真治
2	10月14日 (水) 17:50～19:20	腰痛～原因と治療法	高齢化し、退行性病変で悩む患者が増加してきた。腰椎症は最も頻度の高い疾患である。特に変形性腰椎症、腰部脊柱管狭窄症についての症状・診断・治療について述べる。	山口大学大学院 医学系研究科 教授 田口敏彦
3	10月19日 (月) 17:50～19:20	終末期医療	ガン末期治療を消化器外科疾患の立場から解説する。末期医療の現状と効果および患者の幸せとの連関について考える。抗癌剤の効果についても説明する。	山口県立総合医療センター 院長 中安 清
4	10月26日 (月) 17:50～19:20	医学倫理 ～何故必要か	命を救うためには、第三者には容認出来ない事象を取扱うことが医療人に許されている。このため高い倫理が求められる。一般倫理と異なる医学倫理の特殊性を学ぶ。	山口大学大学院 医学系研究科 教授 谷田憲俊
5	11月2日 (月) 17:50～19:20	医療における薬剤師の介入	薬剤の開発・進歩による医学・医療の貢献およびそれがもたらす副作用、薬害について考える。医療における薬剤師の役割および日本の薬剤師の現状について述べる。	元山口県薬剤師会 専務理事 西本哲明
6	11月9日 (月) 17:50～19:20	生活習慣病 (2) 脳を守る	長年の生活習慣により脳への危険が迫り、やがて脳卒中や認知症となって症状を出す。脳を守る自然のメカニズム、病気による破壊、医療が行う方法について解説する。	山口県立総合医療センター 主任部長 山下哲男
7	11月16日 (月) 17:50～19:20	臓器移植	機能不全に陥った臓器を正常な臓器に取り替える技術とそれに伴う社会問題を考える。脳死移植、心停止後移植、生体移植の違いを解説し日本での実情を述べる。	下関済生会病院 泌尿器科部長 上領頼啓

8	11月30日 (月) 17:50～19:20	乳がん～ 早期診断・ 治療	本邦では生活の欧米化で乳がん患者が急増したが、早期診断・治療により予後は必ずしも悪くない。近年の診断法、治療法および乳がん発生の危険因子について解説する。	山口大学医学部 付属病院臨床試験支援センター 助教 長島由紀子
9	12月7日 (月) 17:50～19:20	救急医学 ～ここまで 知って欲しい	救急医療では幅広い患者、重症患者に対応する高度の医学知識が要求される。救急医療の社会的意義、各種疾病や病態の把握、重要臓器の機能維持法や保護法を学ぶ。	山口大学大学院 医学系研究科 教授 医学部長 前川剛志
10	12月14日 (月) 17:50～19:20	生活習慣病 (3)糖尿病	糖尿病は食生活の欧米化による現代病である。多くの糖尿病は生活習慣をコントロールすることで予防出来る。糖尿病よりも糖尿病で生じる合併症が致命となる。	山口県立総合医療センター 主任部長 井上康
11	12月21日 (月) 17:50～19:20	再生医療	生命は限られている。永遠に生き長らえることは人の夢である。細胞を再生出来ればこの夢がかなう。再生医療の現状を紹介し、社会にもたらす影響を検討する。	山口大学大学院 医学系研究科 教授 濱野公一
12	1月7日(木) 17:50～19:20	不妊治療	不妊症の定義および不妊治療の現状について解説する。不妊治療の進歩と法規制およびそれに伴い発生する倫理的諸問題、治療へのサポートについて理解を深める。	山口県立総合医療センター 産婦人科部長 中村康彦
13	1月18日 (月) 17:50～19:20	癒しの医療	医療との係わりが長くなるにつれ、機械的な医療が疎まれ心のこもった医療を求める。癒しの医療に足りないもの、配慮すべきことについて体験を踏まえて述べる。	山口県議会議員 藤井律子
14	1月25日 (月) 17:50～19:20	ストレスと 鬱病	本邦での自殺者は年間3万人以上である。この中にうつ病、ストレスを有した人がかなり存在する。ストレスとは何か？うつ病とは何か、両者の関係について述べる。	財団医療法人水の木会 理事長 水木泰
15	2月1日 (月) 17:50～19:20	生活習慣病 (4) 循環器病	日本人の生活が欧米化し、血管のしなやかさが消失し、硬くなり内腔がつまり、血液が流れにくくなったために種々な病気が発生してきた。	山口大学大学院 医学系研究科 准教授 三浦俊郎

●受講方法

部分受講も可能です。全講座の受講者には、山口県立大学公開授業受講修了証を授与します。

●申し込み

1) 申込先 〒753-8502 山口市桜畠3丁目2-1
山口県立大学附属地域共生センター生涯学習部門
TEL/FAX 083-928-3495

2) 方法

上記申し込み先まで、氏名・年齢・住所・電話番号をお知らせください。
(はがき、電話、FAXでも可)

3) 締切 9月28日(月)

4) 受講通知 講座開始前各自へお知らせします。

♪♪この講座に関するお問い合わせは

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門
TEL/FAX 083-928-3495

